

2020年10月12日

鳩山町太陽光発電施設説明会等実施報告書

鳩山町長

宛て

〒251-0043 神奈川県藤沢市辻堂

報告者 住所

株式会社コクホ

氏名

代表取締役 安田

(法人にあっては主たる事務所の所在地 名称及び代表者の氏名)

(電話番号0466-30-2688)

鳩山町太陽光発電施設の設置に関する要綱第5条第3項の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 発電施設の名称	大豆戸ソーラー発電所①②
2 設置場所	鳩山町 大字大豆戸字夜打久保933 944
3 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 説明会 <input type="checkbox"/> その他 ()
4 実施日時	2020年 10月 3日(土) 13時 ~ 15時
5 実施場所	大豆戸公会堂
6 説明者	住所 神奈川県藤沢市辻堂元町1-3-22 氏名 株式会社コクホシステム 環境事業部 電話
7 説明会参加者	説明対象者 (5名) 参加者人数 (11名)
8 協議相手方名	大豆戸自治会 その他
9 要望・意見等の内容及びその対応等	除草作業の際は、水下の南側隣地の農業用溜池の水質に影響がない薬剤使用を遵守します。

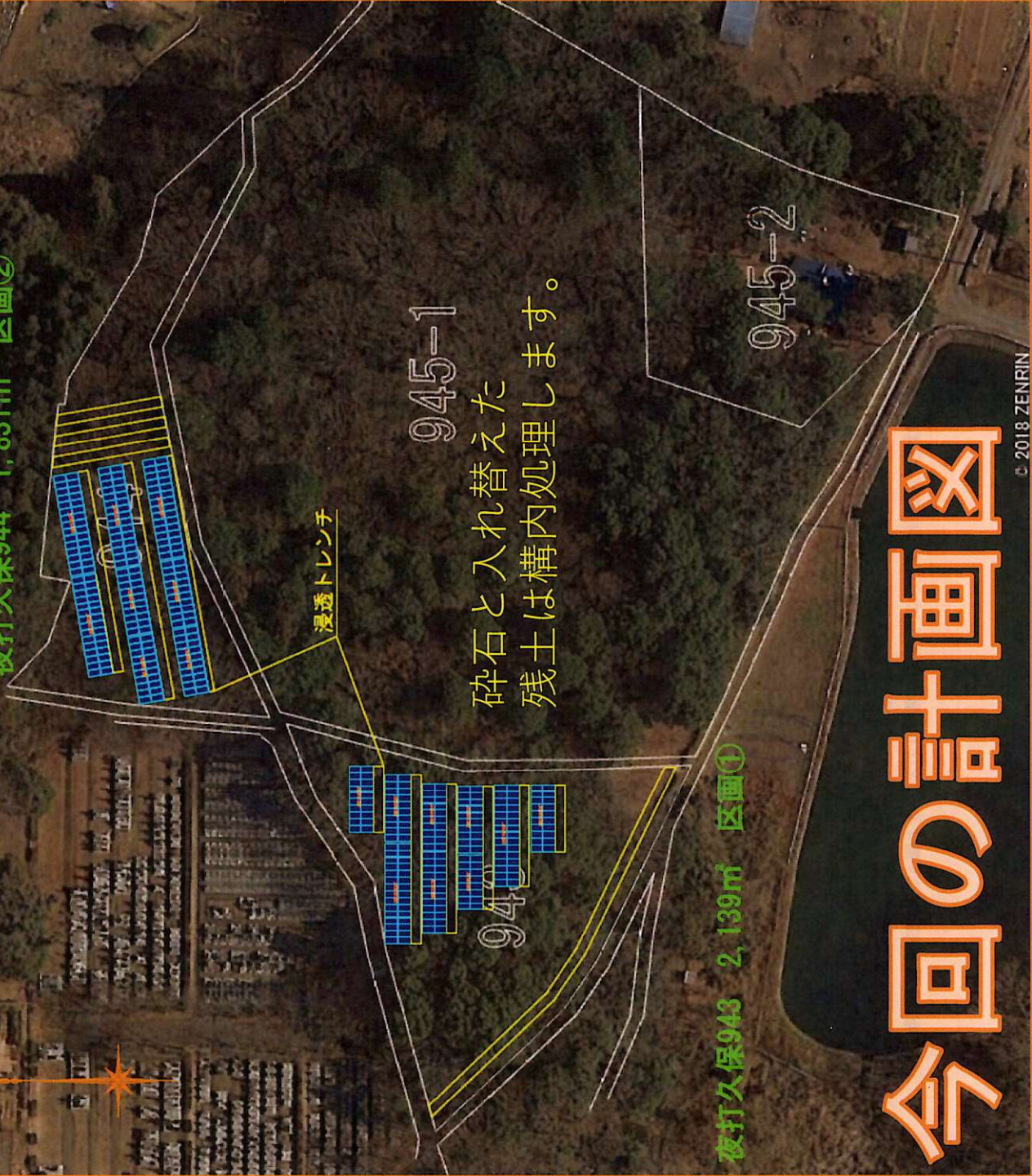
添付書類

説明概要、説明会等において配付又は使用した資料、隣接住民等からの意見とその対応策についてまとめた書類等を添付してください。

座標 ■ 35.980333, 139.324944

※設計寸法と実測寸法に相違がある場合がございます。
※障害物影の影響により発電量が低下する場合がございます。

夜打久保944 1,831㎡ 区画②



945-1
砕石と入れ替えた
残土は構内処理します。

夜打久保943 2,139㎡ 区画①

今回の計画図

© 2018 ZENRIN

案件名

大豆戸低圧ソーラー発電所2区画

住所

埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸字夜打久保943・944

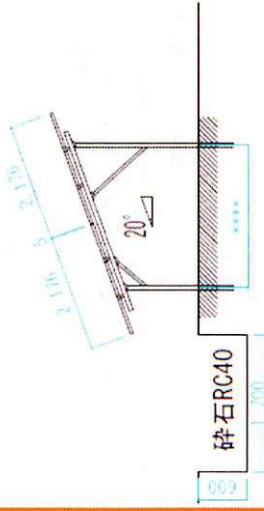
土地面積①②

地目

2,139㎡・1,831㎡

山林

架台姿図(2段20°)



モジュールメーカー

トリナソーラー

PV形式

TSM-DE18M(Ⅱ) 495W

枚数

200枚

パワーコンディショナー(单相4.95kW)

SUN2000L-4.95KTL-JP 10台

直列回路

10直列2並列10台

直流出力

99.00kW

交流出力

49.50kW

遠隔監視システム

Smart Logger

架台

設置方位

縦置き2段20° アルミ製

風速

30m/s

垂直積雪量

30cm

縮尺

1/1000

日付

2020.02.17



I 浸透施設的设计区画①

- ハネルマシ法 $2.176 \text{ m} \times 1.098 \text{ m}$ 角度 20°
- 枚数 200 枚
- 浸透トレンチ (砕石タイプ) 仕様
 - 幅 1.7000 m
 - 深さ 0.6000 m
 - 長さ 112.8 m *設置き2段想定
 - その他 72 m
- ハネル設置面積 0.2139 ha



- 設計貯留量 (V) の計算
 $V = W + H + L + 0.4$ (砕石3号の空隙率=0.4)
 $V = 75.3984 \text{ m}^3$
- 比浸透量 (Kf) の計算
 $Kf = a + H + b$ ($W \leq 1.5 \text{ m}$, $H \leq 1.5 \text{ m}$)
 a: 形状係数 3.093
 b: 形状係数 2.9550
 $Kf = 4.8108 \text{ m/hr}$
- 基準浸透量 (Of) の計算
 $Of = k + Kf$
 $Of = 0.02628 \text{ m/hr}$
- 設計浸透量 (fc) の計算
 $fc = C + Of$
 C: 影響係数 ($0.9 + 0.9$) 0.81
 $fc = 0.1024 \text{ m/hr}$
- 設計浸透強度 (Fc) の計算
 $Fc = (fc * 1000 * L) / (10000 * A)$
 $Fc = 5.4004 \text{ mm/hr}$

県北ブロック (鳩山町) 降雨確率30年

(必要貯留量計算表) 降雨確率30年 $r = 6480 / (t + 21)$

降雨強度 $r(t)$	浸透強度 Fc	係数	時間(分) t	流出係数 f	面積 A	係数	必要貯留量 $V(t)$
209.03	5.40	60	10	0.43	0.2139	1/360	31.2158
127.06	5.40	60	30	0.43	0.2139	1/360	55.9491
80.00	5.40	60	60	0.43	0.2139	1/360	68.6148
71.21	5.40	60	70	0.43	0.2139	1/360	70.6171
64.16	5.40	60	80	0.43	0.2139	1/360	72.0590
58.38	5.40	60	90	0.43	0.2139	1/360	73.0919
53.55	5.40	60	100	0.43	0.2139	1/360	73.8172
49.47	5.40	60	110	0.43	0.2139	1/360	74.3055
45.96	5.40	60	120	0.43	0.2139	1/360	74.6070
42.91	5.40	60	130	0.43	0.2139	1/360	74.7590
41.54	5.40	60	135	0.43	0.2139	1/360	74.7879
41.27	5.40	60	136	0.43	0.2139	1/360	74.7903
41.01	5.40	60	137	0.43	0.2139	1/360	74.7916
40.75	5.40	60	138	0.43	0.2139	1/360	74.7919
40.50	5.40	60	139	0.43	0.2139	1/360	74.7911
40.25	5.40	60	140	0.43	0.2139	1/360	74.7893
40.00	5.40	60	141	0.43	0.2139	1/360	74.7865
39.75	5.40	60	142	0.43	0.2139	1/360	74.7827

※上表から必要貯留量の最大値

$V(t) = 74.7919 \text{ m}^3$

定める雨量計算式の表より、雨が地下浸透処理されるまでに雨が溜まるピーク時間は雨が降ってから187分後、雨水を外に排出しない為に必要な升は35.735mであることを示す。

III 判定

① 設計貯留量 V	② 必要貯留量 $V(t)$
75.3984 m	74.7919 m
>	可

設計した浸透升の大きさは、計算上必要な升の大きさを上回っているという判定結果を示す。

今回の計画図

(参考資料)